

活動実施計画書

団体名：熱田湊まちづくり協議会

1 都市マスとの関連性（A～H、1～3をそれぞれ選択して記入してください。）

F-② 歴史まちづくりの推進

2 活動地域の特性、現況、課題

令和 4～5 年度に SDGs まちづくり推進事業の対象地域として選定され、環境を切り口に地域課題の解決に取り組んできた。活動地域である熱田湊は、東海道唯一の湊として栄え、桑名と往来する船が発着した「宮の渡し」を有するなど、歴史的価値の高い地域である。

現在、宮の渡し跡は都市公園として整備されているものの、熱田神宮を訪れる参拝・観光客の多くは国道 1 号線沿いに集中し、同公園まで足を延ばす人は少ない。道路による動線の分断により、歴史的空間の魅力が十分に活かされていないことが課題となっている。

また、江戸時代にこの地で発祥し、日本各地の盆踊りに影響を与えたと言われている神戸節についても、近年、埋もれていた歴史として発掘されたばかりであり、これからその価値や背景を十分認識し、地域資源として活用していく必要がある。これらの歴史文化資源をハード・ソフト両面から発信し、人の流れと賑わいを生み出すまちづくりを進める必要がある。

3 団体の活動実績

※ 過去に地域まちづくりの助成を受けたことがある場合、その実績も含めて記入すること

平成 31 年 4 月：宮の渡し・大瀬子地区まちづくり協議会（現熱田湊まちづくり協議会）発足

令和 2,3 年度：「熱田湊まちづくりビジョン 2022」策定（地域まちづくり活動助成）

令和 4,5 年度：名古屋市 SDGs まちづくり推進事業に選定

令和元年度～：まちづくり勉強会（毎年開催）

令和 6 年度：あつた観光まちづくり連盟に参画

令和 7 年度～：あつたか熱田ストリートピアノの設置（μ PLAT 2 階に設置）など

4 助成を受けようとする活動の目的

熱田湊まちづくりビジョンでは、「観光まちづくりの推進」として、宮の渡し公園および大瀬子公園の活用とアクセス整備を進め、歴史文化をより感じられる空間へと再生していくことが掲げられている。特に宮の渡し公園については、歴史的背景を活かしたイベント開催や、空間の魅力を高める再生提案を重ねることで、より良い活用につなげていくことが明記されている。「宮の浜おどり」は、神戸節という地域固有の無形文化と、宮の渡しという歴史的空間を結び付け、来場者が実際に体験しながらその価値を感じられる取り組みである。イベントとして公園を活用することで、これまで十分に認識されてこなかった宮の渡し公園の歴史性や魅力を可視化し、今後の再生・利活用の方向性を検討する上での重要な実践の場となる。また、本ビジョンが掲げる「熱田プライドの醸成と継承」や、将来像である「熱田の誇りを次世代につなぐ湊まちづくり」の観点からも、本事業は大きな意義を有する。地域に根付く文化を、見るだけでなく踊り、楽しみ、共有する場をつくることで、地域住民自らが歴史文化に誇りを持ち、次世代へ伝えていく意識の醸成につながる。さらに、熱田湊まちづくり協議会が中心となり、複数の団体や事業者、地域住民と連携して「宮の浜おどり」を実施することは、ビジョンを実践段階へと進める上で不可欠である。単独団体による催しではなく、多様な主体が関わることで、人材や知見の広がり生まれ、継続性と発展性を備えた取り組みへと成長していくことが期待される。このように、本事業は熱田湊まちづくりビジョンを具体的な行動として具現化するものであり、歴史文化を活かした宮の渡し公園の再生、地域の誇りの醸成、そして自発的・自立的なまちづくりの推進に寄与することから、熱田湊まちづくり協議会が本補助金を活用して取り組む意義は極めて大きい。

この「宮の浜おどり」実施状況についてはビジョン達成にかかるマイルストーンとして、現状分析と今後を検討する報告会を実施し、地域とともにビジョンの推進を図る。

5 活動による今年度の成果目標

●宮の浜おどり

【来場者数】

「宮の浜おどり」来場者数:1,000 人程度/回（地域住民・観光客・インバウンドを含む）

【参加・運営主体】

浜おどり・演奏等の出演団体・個人:5 団体以上

運営に関わる地域住民・ボランティア:20 人以上

【文化認知・発信】

来場者アンケート等により「神戸節を初めて知った/理解が深まった」来場者:50%以上

【継続性・発展性】

翌年度以降も継続開催する意向を持つ運営メンバーの合意形成

次年度開催に向けた企画・体制の素案作成

●マイルストーン報告会

【参加者数】

約 300 人

※ この様式は公開されます。

6 助成を受けようとする今年度の活動内容

行事名:宮の浜おどり

(1) 開催概要:

開催日:令和 8 年 9 月 26 日 (土) 予定

会場:宮の渡し公園(名古屋市熱田区)

主催: 熱田湊まちづくり協議会

共催・協力: 真夏の夜の浜おどり実行委員会ほか

(2) 実施内容:

- ・宮の渡し公園を会場に、浜おどりや春駒、かわさきなど盆踊りの曲を生演奏で実施
- ・地元住民を中心に、来場者が輪になって踊る参加型の催しとして開催
- ・宮の浜おどり当日までに、神戸節に関する歴史的背景の説明と、踊りの勉強会
- ・ナイトタイム観光の活性化事業（観光文化交流局）において屋形船を誘致（住宅都市局）し、アジア・アジアパラ大会の事業と協働（予定）
- ・打ち水大作戦（環境局）を実施し、子どもを中心として、桶や水鉄砲により打ち水を実施
- ・当日アンケート
※三味線・太鼓・踊りを中心とした地域文化継承型イベントとして実施

2 マイルストーン報告会

(1) 実施概要

開催日：令和 8 年 11 月 20 日（金）予定

場所：熱田文化小劇場（ホール）

(2) 実施内容

「熱田湊まちづくりビジョン 2022」に対し、事業が与えた影響・効果

7 今年度の活動実施の際に協力や調整等が必要となる関係者等

- ・宮の浜おどり実行委員会
- ・端唄 華房流華の会
- ・名古屋市立大学経済学部
- ・SPC Nagoya
- ・住宅都市局
- ・観光文化交流局
- ・アジア・アジアパラリンピック実行委員会

8 今年度の活動内容のスケジュール

月	活動内容	詳細
4	キックオフミーティング	事業内容の検討、役割分担、スケジュール等
5	ミーティング（1回）	各担当事業の進捗報告と情報共有
6	ミーティング（1回）	各担当事業の進捗報告と情報共有
7	ミーティング（1回）	各担当事業の進捗報告と情報共有、ちらしの検討
8	ミーティング（1回）	各担当事業の進捗報告と情報共有、ちらし完成・配布
9	①ミーティング（1回） ②公開勉強会（2回） 【浜おどり本番】	①担当事業の進捗報告と情報共有 ②浜おどり公開練習（場所：白鳥コミセン）
10	①実施反省会 ②ミーティング（報告会に向けて）	①実施内容の反省と今後に向けた課題整理 ②当日アンケートの集計と検証 11月の報告会に向けた準備
11	①中間報告 ②マイルストーン報告会	①都市センターに中間報告の提出 ②熱田まちづくりビジョンに対する効果検証
12		
1	ミーティング（1回）	次年度に向けたミーティング
2	ミーティング（1回）	報告実績と報告会に向けた打合せ
3	実績報告・報告会	都市センターに実績報告するとともに報告会に参加

9 （構想策定・実践目的達成）までの想定プロセスと以後の展望

1. 目的達成までのプロセス: ・「宮の浜おどり」開催による参加機会の創出 ・地域住民の参画と運営体制の構築 ・来場者アンケートによる成果検証と改善 2. 目的達成後の展望: ・「宮の浜おどり」の地域行事としての定着 ・神戸節の文化的価値の再評価と発信 ・地域ブランド「神戸節のまち・熱田湊」の確立 ・宮の渡し公園、大瀬子公園、神戸公園を回遊性の高い面的な公園空間として再編 ・3公園を「歴史」「水辺」「地域交流」という文化的テーマでつなぐ
--

※ 各欄のサイズ変更は可能ですが、4ページを超えないように作成してください。

※ 用紙の大きさは日本産業規格 A4 とする。

※ この様式は公開されます。